

1. 授業の概要(ねらい)

本演習では、教育を取り巻く問題について、仕事や家族、さらには福祉領域との関連性を視野に入れながら具体的な事象を取り上げつつ検討していく。検討に際しては、演習履修者の関心にも配慮してテーマを設け、関連する文献や事象に関連する定量的・定性的データを紹介しながら論点を共有していく。そして、教育をめぐる探求すべき問いとは何か、どのようなアプローチを通じて調査・分析をすることで解明できるのか、受講生の報告と相互の議論を通じて理解を深めていくことを目的とする。

2. 授業の到達目標

- ・各自にとって関心のあるテーマ・領域に関する文献のレビューを通じて、対象への認識を深め、どのような問いとなるのかを明らかにする。
- ・他の受講生が取り上げるテーマ・領域に関心を寄せ、議論を通じて認識を深め、何が課題となるのかを発見、共有する。

3. 成績評価の方法および基準

- ・演習における発言や参加度(30%)
- ・担当する文献の報告内容(50%)
- ・課題への取り組み(20%)

4. 教科書・参考文献

参考文献

演習内で配布するリストで適宜紹介する。

5. 準備学修の内容

報告担当以外の履修生は、他の受講生の担当内容について、あらかじめ紹介された文献資料を読んだ上で、演習に臨むこと。

6. その他履修上の注意事項

演習にきちんと出席することはもちろん、発表し、積極的に討論に参加すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 報告対象文献の選定および報告の仕方について
- 【第3回】 教育と社会を取り巻く変化——課題の所在の探求
- 【第4回】 学校を取り巻く課題と論点
- 【第5回】 現代社会の変容と教育をとりまく現状と課題
- 【第6回】 受講生の発表および文献内容の検討(1)
- 【第7回】 受講生の発表および文献内容の検討(2)
- 【第8回】 受講生の発表および文献内容の検討(3)
- 【第9回】 受講生の発表および文献内容の検討(4)
- 【第10回】 受講生の発表および文献内容の検討(5)
- 【第11回】 受講生の発表および文献内容の検討(6)
- 【第12回】 受講生の発表および文献内容の検討(7)
- 【第13回】 受講生の発表および文献内容の検討(8)
- 【第14回】 受講生の発表および文献内容の検討(9)
- 【第15回】 演習Ⅰのまとめ